

## 「みんなの家’ 77」とは・・・

「みんなの家’ 77」は、1977年7月7日に作曲家の赤星建彦が創立した、障害児・者を対象にした音楽福祉施設です。

児童福祉法の改正により、2013年4月に小学校1年生から高校3年生までの障害児を対象にした「放課後等デイサービス」となりましたが、創立当時から行っている音楽療法を中心に活動をしています。



# 「みんなの家’ 77」の音楽療法は・・・

みんなの家’ 77では「療育音楽療法」という独自のプログラムで、音楽を通して発達支援を行っています。

「療育音楽療法」は、創立者赤星建彦によって考案されたプログラムで、音楽療法の手法の一つです。能動（行動）的であること、グループ主体であることのほかに、医学的理論に裏付けされた三つの理念を、プログラムの柱にしています。

## 「医学的理論による三つの理念」



### 手を使って脳を活性化

手は第2の脳と言われるほど、脳において手指を支配する領域が広いです。すなわち、手指を使って活動することにより、その部分の血流が増え、脳の活性化につながります。



### 呼吸器の強化

肺機能を十分に働かせることで、体内のガス交換が促進され、新鮮な酸素を身体の細部にまで行き渡らせることができます。深い呼吸や長い呼吸は、行動の安定や発声・発語を促進することにつながります。



### リズム感の獲得と復活

人体には生体時計があり、人体の組織（心臓や肺など）や、行動（歩行や睡眠覚醒）においても、規則正しいリズムが刻まれています。人の刻む日常的な様々なリズムを整え、あるいは取り戻すことで、健康につながります。







# 発達を支援する「療育音楽療法」

「療育音楽療法」では、さまざまな目的を通して発達支援に取り組んでおり、卒業後、社会で生きていくための力へとつなげて行くことを、目指しています。


## 「障害児の療育音楽療法の目的」




社会性の発達促進




情緒的行動の発達




コミュニケーション力の育成



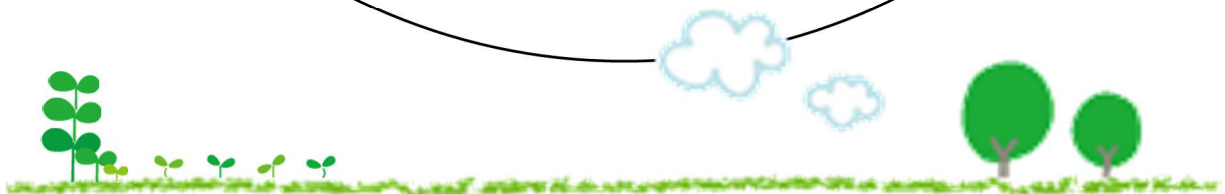
運動機能の向上促進



音楽性や音楽力の向上



余暇活動の充実



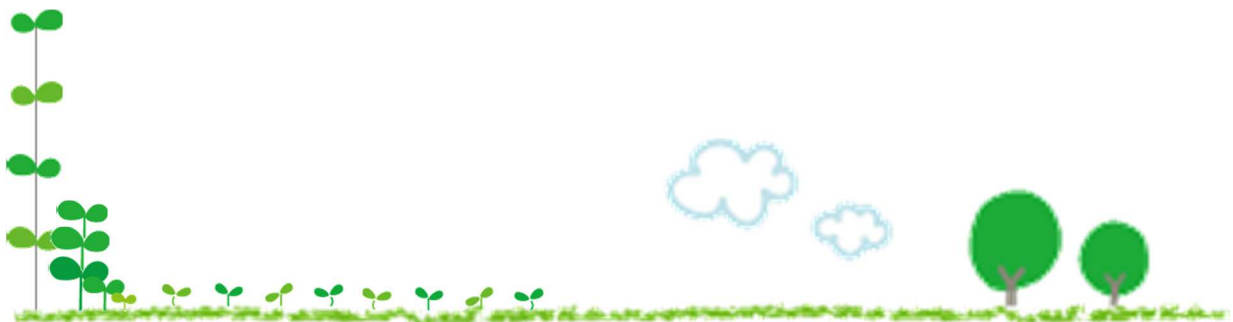


## 放課後等デイサービス「みんなの家’ 77」

2013年4月より、「みんなの家’ 77」は、小学校1年生から高校3年生までを対象にした放課後等デイサービス「みんなの家’ 77」になりました。放課後等デイサービスは、児童福祉法に基づき、障害のあるお子さんたちの生活能力向上のために必要な訓練や、自立した日常生活を営むために必要な訓練、放課後や長期休暇中の居場所づくりを目的に運営されています。



現在、小平市には、放課後等デイサービスが11ヶ所あり（「子育てガイド平成31年度版 小平市」より）、NPO法人や公益財団法人、一般社団法人などさまざまな法人が運営を行っています。各放課後等デイサービスにおいて、それぞれ特徴を持った活動を行っており、「みんなの家’ 77」では、毎日音楽療法を通して発達支援を行っている、他では見られない、珍しい放課後等デイサービスとなっています。

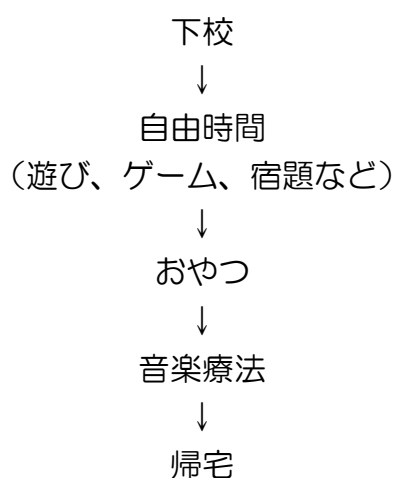




## 「みんなの家’ 77」活動内容

「みんなの家’ 77」では、月曜日から金曜日まで毎日音楽療法を行っています。

### 「一日の流れ」



## 「みんなの家’ 77」職員体制

「みんなの家’ 77」は、「公益財団法人東京ミュージック・ボランティア協会」が運営している放課後等デイサービスです。職員体制は、施設長・児童発達支援管理責任者・指導員となっており、それぞれ教員や介護福祉士、社会福祉主事、日本音楽療法学会認定音楽療法士など様々な資格を有しています。

施設長	1名
児童発達支援管理責任者	1名
児童指導員(常勤)	1名
児童指導員(非常勤)	2名
指導員(非常勤)	3名
事務員(非常勤)	1名

(平成31年4月1日現在)





## 最後に・・・

「療育音楽療法」は、楽しいプログラムであること、集団であってもそれぞれのお子さんに合わせることを、「指導」ではなく「支援」であることを大切にしています。

「音楽で楽しく健康に、そして生きる喜びを！」をモットーに、お子さんを支えていきます。

